



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひろば

第91号 発行日/2008.12.5
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾情報部会
事務局/生涯学習課 ☎0294-23-9150
〒317-0064 日立市神峰町1-6-11

協働・支援 市民の活動をつなぐ新たな方向

20周年を契機に百年塾運動の新たな方向性を探る、モデル事業や市民ワークショップなどが実施されています。子どもの活動支援、地域資源を活かした農業・漁業・観光など協働のまちおこし研究会が発足しました。

地域資源の活用で新たなまちおこし 4つの資源テーマに市民ワークショップ

日立市には、豊かな水産物や農産物、観光地など地域資源がたくさんありますが、十分生かされているとは言えません。産業部会では今まで、市や商工会議所、漁協、仕出し店と共に、市の魚である「さくらだこ」を使った弁当やおにぎりの試作品販売を、さくらまつりや百年塾フェスタで実験的に行ってきました。また、有名になった「茂宮かぼちゃ」を材料に羊羹やパイ、パンの試作品化も、生産者や菓子店などの協力を得ながら進めています。

学びながら実践し、まちづくりへつなげていくという百年塾の基本的な考え方を、20周年を契機に実践していくため、日立市の4つの地域資源（水産、農産、観光、環境）を生かした市民主体のまちおこし市民ワークショップを10月17日に立ち上げました。魚や野菜などの水産及び農産資源、かみね公園やシビックセンターなど観光資源も生かして、環境という観点から生産者や市民、行政、会議所、事業者などが従来型のテーブル（会議）ではなく、日立

市のまちの活性化への方向性をとことん話し合い、実験事業や実践へ発展させる市民主体の建設的で実践型のワークショップです。



議論太いに盛り上がる

現在、生産者や実践家、市民、行政も一緒になって、活発な議論が展開されています。このワークショップは、毎月定例的に4つのテーマ別研究部会を開催しており、いつでも、だれでも参加することができますので、百年塾サロン（事務局）へお問合せください。

子ども行事支援 すごい体験！環境とエネルギー

学校部会では本年度スタートした地域における子ども行事支援事業を展開しています。

11月1日(出滑川交流センター、11月2日(日諏訪交流センター)で開催された地区の祭りへ、科学実験や

体験を通して、エネルギーや環境について子どもたちに伝える活動をしているグループ、エネルギーを考える会「ひまわり」が“おもしろエネルギー教室”を出展しました。

会場では手作り工作の楽しさを体験するクリップモーター作り、大きな労力を必要とする電気づくりが体験できる、手回し発電やうちわ発電、水力発電の手づくり模型、ドライアイスを使っての雲づくり、二酸化炭素による温室効果実験、白熱灯と蛍光灯の比較で省エネ・節電効果が体験できるコーナーなどが設けられました。

スタッフの解りやすい説明に真剣



電気をおこすのしたいへんだ

に聞き入る子ども、発電しようと一生懸命にうちわを扇ぐ子どもなど、会場は熱気に包まれました。様々な体験をした子どもたちは「すごい！すごい体験をした」「自然の破壊が進んでいるが、実験したことを役立てて、自分たちの力でもとに戻したい」などの感想を聞かせてくれました。

今後も地域で子どもたちの歓声が聞こえる事業を支援し、様々な体験ができる環境づくりをサポートします。

百年塾 なるほど！PTA広報紙展

日立市内の小・中学校PTAの広報紙を一堂に展示して、各PTA活動の成果などを紙面で披露します。特集記事も楽しみです。百年塾では広報セミナーや出前講座を開催して、編集に携わる広報委員を支援しています。

- とき 平成21年2月10日(火) 13時～14日(土) 12時まで
- ところ 教育プラザ2階ギャラリーB
- 申込み 12月22日(月) までに百年塾サロン (FAX 24-5200)
(1月13日(火) までに広報紙5部を百年塾サロンへ)

※期間中は会場でご相談も実施します。

百年塾フェスタ2008

— 夢ある未来へ 見る 聞く 学ぶ —

体験で新たな発見ありましたか？

11月23日(祝日)・24日(休日)の2日間、午前10時～午後4時まで多賀市民プラザを会場に20周年

記念「百年塾フェスタ2008」を開催、多くの来場者があり、体験ブースでチャレンジする姿がありました。

会場の1階ギャラリーと小ホールには「エコ」をテーマにした多くのブースを設け、スタンプラリーも実施しました。

エコ川柳には126点の作品の応募があり、「環境にごめんなさい」や「CO2ダイエット宣言」「ごみ分別ゲームやクイズ」、「おもちゃの病院アンケート」にも多くのチャレンジャーがいました。

エコキャップ集めには39000

個が集まり、800個で1人の子どもの命が救える、ポリオワクチン(1人分20円)48人分を贈ることができました。

身近な環境・エネルギー教室の各種の展示、うちわ発電やキッチン電池、工作にも親子の列ができました。

来年、茨城県で開催される、若い人たちが技術を競う技能五輪の紹介にも関心が寄せられていました。

大ホールではネパール学校支援報

告会、講演会、水木幼稚園のソーラン、日高中学校吹奏楽部の演奏、ロックバンド演奏、市民教授の発表などが行われ、多くの聴衆を集めました。

また、市民教授による体験教室や展示コーナー、屋外のものづくりや地産地消のテントも大いに賑わい楽しそうな声が響いていました。

今年も百年塾の呼びかけに、5つのコミュニティ推進会が出展し、得意技を披露しました。



エコとエコと五七五



式典であいさつする本部長



託児も用意



「みずぎょうちえんソーラン」の男姿



なんとか直りそうかな



中学生が実験を手伝う



日高中学校吹奏楽部の演奏



ごみの分別に子どもたちも真剣



熱心にビデオに見入る

地域の教育力を活用した幼稚園や学校づくり

温かな応援にこたえて踊る 推進園：田尻幼稚園

田尻幼稚園の園児たちが今秋、運動会や地域の敬老会で八木節を披露しました。

同園ではかねてより、地域の活性化につながる伝統的なものを残したいと模索。昨年、田尻交流センター事務長の森健一さんの協力で、田尻浜に古くから伝わる『八木節笠踊り』があるのを知り取り組むことに



八木節を楽しそうに踊る園児たち

しました。

初年度は保護者が年長組の全員のはっぴを縫い上げ、2年目の今年は本格的に踊りに取り組みました。「田尻幼八木節」と名付け、伝統を受け継ぎながら独創性も大切にしたいと、踊りも曲も子ども向きにアレンジしました。曲は、作詞・唄とも地域の人引き受けてくれました。笠と一体となったパチも、地元の竹細工をしている人が苦心を重ねて考案し、応援の人たちも加わり200本を作ってくれました。こうした地域の人たちの温かな応援に応えるかのように、園児たち初披露の敬老会でも運動会でも見事に踊りこなしました。

たくさん地域の人たちに見守られ、園児たちは心身共に伸びやかに成長しています。

地域で生かしたい 市民カレッジで得たもの

ひたち生き生き百年塾が茨城キリスト教大学と連携して6月に開講した「ひたち市民カレッジ」が12月3日、終了式を迎えました。

このカレッジはシニア世代の生きがいづくりと、まちづくりに関わる生涯学習指導者の育成をめざし開講されました。

学ぶことへの期待と意気込みを抱いて集った37名の受講生は、主に茨城キリスト教大学を学び舎に「まちづ

くり」「一般教養」「趣味と体験」「仲間づくり」の4分野40単位のプログラムと取り組んできました。

講師陣は大学教授や市民教授、コミュニティ関係者など。受講生は、日立市における生涯学習とまちづくりや地域コミュニティの活動状況など熱のこもった講義に熱心に聞き入り、生涯学習推進者として求められるものや、自主企画が主となる「仲間づくり」の科目からは、共に学ぶ仲間を得ることの大切さを学びました。

受講生からは、「地域に役立つ活動をめざして入った。何十年ぶりの学生生活は楽しく、人生の先輩方との出会いは貴重な体験であり大切な時間を得たと感謝している。1期生としてこれからは一人でも多くの人に地域に目を向けてもらえるようお手伝いがしたい」「生きがいを持って充実した人生を送りたいとの思いで入学した。リーダーを中心にそれぞれが役割を持って活動、人との和を学んだ」「自主企

～百年塾20周年記念講演会～ 人間の尊厳を守る介護予防



会場を沸かせて

10月15日、多賀市民プラザで『ひたち生き生き百年塾20周年記念講演会』が開催され、医学博士で茨城県立健康プラザ管理者の大田仁史さんが「茨城県の介護予防とシルバーリハビリ体操」と題して講演しました。

大田さんは、団塊の世代が高齢者になる時には介護施設が不足することは確実。従って閉校になった学校などを転用し介護施設を増やす必要があり、何よりも自助・共助の努力が必須であることを強調しました。

さらに「介護は人間の最後の尊厳を守り支えるもの」を基本とし、寝たきりにならないためのポイントやシルバーリハビリ体操のすそめを解説。「体操をして、ほどよい時期にお棺にすんなり入ろう」という話では、会場も笑いに包まれました。

分かりやすくユーモラスな語り口や体操の実演に会場は大いに盛り上がり、20周年記念にふさわしい講演となりました。

画のバス研修で郷土の匠を訪ねたが、その技量のすばらしさに深い感銘を受けた。これらの技を次世代に受け継がねばと考えさせられた」「ワクワク感と緊張感でスタートしたが、机を並べる毎にうち分け今では十年來の友のよう。卒業後も永遠の交わりを誓った」などの声が寄せられました。

仲間と共に学んだ半年間は受講生の胸に貴重な思い出を刻み、今それぞれが生涯学習推進への新たな第1歩を踏み出したようです。

コミュニティ推進会の ホームページを出前支援

百年塾情報部がホームページセミナーを開催しながら開設を応援した、コミュニティ推進会のホームページに多くの人アクセスしています。

新たなページの作成やメンテナンスを学びたいと希望するコミュニティ推進会があれば、出前講座を実施します。申込みは百年塾サロンへ (TEL 23-9165)



百年塾ひろば

日立のまち案内人

「常陸那珂港の工場と鹿島神社の流鏝馬(やぶさめ)」の旅

最近、著しく発展している常陸那珂港に、火力発電所と建設機械の工場が建設されています。

晩秋の10月29日(水)、発電所と今年6月から操業した日立建機工場の見学を実施しました。時間的に余裕がなく駆け足状態での見学となりましたが、両社共に規模の大きさには大いに驚かされました。

午後は日立市大久保町の鹿島神社の秋季大祭流鏝馬(やぶさめ)を見学しました。流鏝馬は滅多に見られない古式豊かな行事で、参加した人

たちの興味と関心を誘っていました。沿革によれば、424年前から流鏝馬祭りとして行われて、現在まで引き継がれているということです。地方色豊かな行事が現在も残っている意義深さを感じる旅となりました。

参加者から、今後も古くからある行事を見学する計画をして欲しいとの要望が出されました。

参加者募集

日立のまち案内人と一緒に！ 北茨城の歴史を訪ねます

- と き 平成21年2月19日(木)
 - 候補地 ①常陸国風土記②野口雨情生家・記念館③天心記念館・六角堂④鈴木主水屋敷
 - 参加費 2,500円
 - 人 数 先着30名
- ※申込みは2月5日(木)午前10時～百年塾サロン(TEL 23-9165)へ。



これから矢を射る処です(やぶさめ)

平成20年度 ひたち生き生き百年塾

市民教授のつどい



1. と き 平成21年3月14日(土)～15日(日)
10:00～15:30(両日とも)
2. ところ 日立シビックセンター(ギャラリー・音楽ホール・会議室・茶室など)
3. 内 容 市民教授の活動(作品展示、体験・演技演奏発表など)
百年塾の活動報告

※入場は無料です。お誘い合わせてご来場ください。お待ちしております。

市民教授特別講座 教室ウォッチング



日立の24景などの紹介



今すぐ稼げる自然エネルギー

「百年塾ひろば」を充実させるために、市民の皆さんのご意見や情報をお寄せください。

映像ににじみ出る人から



土浦市民会館での授賞式

日立市内のさまざまな出来事をビデオに撮り続けている海老沢公さんが、国民文化祭のビデオ部門で、全国151点の応募の中から「国民文化祭実行委員会会長賞」を受賞しました。

今年84歳の海老沢さんは、毎日カメラを担いでどこにでも出かけていきます。今回の作品は会瀬地区に伝わる「ささら舞」がテーマで、伝統芸能を受け継ぐ子どもたちの成長の様子を2年がかりで撮り続けました。

生涯現役カメラマンの海老沢さん。人々や郷土を見つめるその眼差しは限りなく温かです。

私たちは百年塾運動を応援します 2008.10.1～11.14(敬称略)

鈴木絹代 富山ふみ 土岐京子 小松徳年 田崎智子 八重樫修 神谷郁子 宮崎孝子 野田順子 塩田駿朝日正子 行田綏子 小浜一男
百年塾協賛金にご協力を！

- 個人 一口 1,000円以上
- 団体 一口 10,000円以上

市民教授(新登録) 2008.7月～10月に登録の方(敬称略)

- 佐川雅一 相田町(そば・うどん、料理全般)
- 小森谷實 会瀬町(ハーモニカ)
- 君島希夢 西成沢町(アロマセラピー)
- 川又亮子 東大沼町(華道:池坊)
- 佐藤恭子 小木津町(華道:池坊)